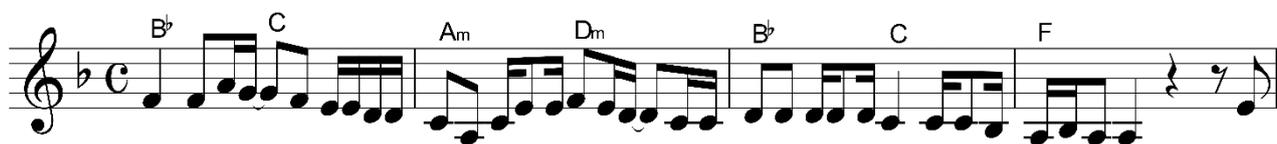


君のいない夏

詞 奥田 祐子

曲 奥田 祐子



かわらな-いものなど あるはずも-なく-わか っているのに むねが いたい- お



だ やかなけし じつとめをとじる-な ぜ わかれは あるの だろう- きみ



の いないなつがきて また あさは あけ る きみ



の いないなつがきて わ たしだけが いる

1 かわらないものなど あるはずもなく

わかっているのに 胸が痛い

おだやかな景色 じつと目を閉じる

なぜ 別れは あるのだろう

君のいない夏が来て

また 朝は明ける

君のいない夏が来て

わたしだけが いる

2 かわらないと見える 自然の木々さえ

枯れていく枝 芽吹く若葉

おだやかな景色 じつと目を閉じる

なぜ 生命は 終わるのだろう

君のいない夏が来て

また 朝は明ける

君のいない夏が来て

わたしだけが いる